



12月の移住者交流スペース

日時 12月17日(日)10:00~17:00(時間内出入り自由)
場所 底土客船待合所3F交流フロア(入口右の階段を上った所が3Fです)
会費 無料 ドリンク・お菓子など差し入れ歓迎!お弁当持ち込み自由
内容 移住者が自由に交流できるスペースをご提供しています。
 相談員がおりますので、島暮らしのご質問にもお答えいたします。
 釣り部・手仕事部・カラオケ部などの募集を行います。

10・11月の移住者交流活動報告

「大輝園」観葉植物ハウス見学会 10月29日(日)11:00~12:30

20名ほどのご参加があり、八丈島の様々な観葉植物を見せていただきました。八丈島の主要産業である園芸について菊池寛さんから解説していただきました。



秋のお散歩&お弁当会 11月5日(日)10:00~14:00

エコツアーガイド協会・大類由里子さんのガイドで沢の小径を散策しました。朝のうちは雨でしたが無事開催することができ、えこあぐりまーとでお弁当を食べながら交流しました。



長野県人会 11月25日(土)19:00~21:00



ピッツァパラディッソ(奥様が長野出身)で少人数ながら故郷の話で盛り上がり、濃い時間を過ごしました。またやりますので、長野出身の皆様、ぜひご参加ください。



【お詫びと訂正】

前号掲載の「八丈島は園芸の島」菊池園人さんインタビューで、「1本から切葉が50枚上がれば、」は誤りです。実際には20~30枚で、1枚20円なら500円程になります。お詫びして訂正いたします。

八丈島ぐらし通信 25

2023年11・12月合併号



古民家喫茶中之郷にて

「ツツブキ」イラスト:川島麻美子(ブランドル島身)

移住者が知らない八丈島

中之郷の朝参りと大賀郷の昼参り

特集

めんなわせ!よさりやれ ~集いのすすめ~

八丈島の歴史

宇喜多秀家 が生きた島

今日の島ごはん

じえーんさんの 里芋の味噌チーズ焼き

【材料】

●里芋の親芋1または子芋5個位 ●玉ねぎ1/4 ●顆粒だし小1 ●好きな味噌(唐辛子味噌、ニンニク味噌、普通の味噌でも) ●シュレットチーズ好きなだけ

【作り方】

里芋を蒸すか塩茹でにして潰す。玉ねぎのみじん切りをレンジ加熱、または炒め、潰した芋、だしの素と混ぜ丸める。味噌を片面に塗りフライパンで両面を焼く。少し焼き色がついたらチーズをかけて良い色になるまで焼く。



8月号でご紹介したじえーんさん(古川友美さん)は、横間のキャンプ場を開拓するかたわら、大賀郷八戸五差路の生産者直売所を親子でお手伝いしています。芋類の種類が豊富です。サツマイモ系は、安納芋・白安納芋・黄金オレンジ・八戸芋。里芋は、南京(親芋子芋)、献上芋など。販売日時は不定期で、じえーんさんのX(旧Twitter)からお知らせしています。里芋のコロケを作る方はいますが、揚げずにフライパンで焼くこちらもおいしいので、ぜひお試しください!

▶じえーんさんのX(旧Twitter)
https://twitter.com/molly_sima_camp



中之郷の朝参りと 大賀郷の昼参り

中之郷には古くから毎日早朝にお茶会をする風習があります。昔は朝の4時や5時、早い人は1時や2時から(ほんと?)お茶を飲みに行く人もいたといいます。これを地元の人たちは「朝参り」と呼んでいます。

大賀郷や三根でも農家の人たちを中心に毎日のお茶会が10時や3時に行われてきました。これは農作業のお茶の時間とは異なり、毎日決まった時間にお茶会の場所へ集まっていくのです。参加者は主に男性です。現在も残っている中之郷と大賀郷の毎日お茶会取材しました。



中之郷の朝参り
毎日早朝に人が集まる風習

大賀郷の昼参り
毎日10時に集まる仲間



主催者
山下 輝さん(75歳)

中之郷在住
毎朝6時~7時、家の裏のハウスで
開催

世話もそういうところで話し合っていた。だからみんな結婚できたんですよ。そんなことも含めて、日常的なことをいろいろ話し合う場でもありました。中之郷は園芸が盛んだから、園芸の情報を得るために、大賀郷から暗いうちに懐中電灯を持って歩いてくる人もいましたよ。

毎日やらないと意味がない

1週間に1回やるのでは情報が遅すぎて意味がないんです。今日どこで誰が亡くなってどこでお通夜だとか、そういうことも毎日やっているからわかる。元旦から大晦日まで、毎日欠かさずやっています。島外から帰省した人たちもここに顔を出して交流しています。



参加者 山下 誉さん(82歳)

歳をとると調査がきます。「あなたは1日に何人と会いますか?」歳をとったらこういうところで話をした方がいいんですよ。昔は、お茶なんか飲んでないで、その時間も働かという人もいたけど、80過ぎたらもうそんなに働かなくてもいいでしょう。毎朝ここへ来ているんなら情報交換をしています。



主催者
奥山 正孝さん(75歳)
容子さんご夫妻

三根在住
毎日10時~11時、大賀郷の
ハウス(倉庫)で開催

毎日お茶会25年間

大賀郷にハウスと倉庫を建てて、それから25年以上お茶会してると思います。毎日です。お茶に来る人は入れ替わり立ち替わりで毎日5、6人は来てますね。長い間やってるから亡くなった方もいて、出たり入ったりもあるのでメンバーは少しずつ変わって、それを考えると感慨深いものがありますね。

気のおけない同級生

毎日来ている寛さんは同級生で、何を言っても大丈夫な関係です。何でもげげげ言い合うけど仲が良くてお互いに楽しんでます。歳をとると病気の人が増えるけど、病気も冗談にして笑い飛ばすお茶会のムードメーカーがいるので楽しくて長く続いています。毎日お湯を沸かして、寒い日は30分前に来てストーブをつけますが、負担に思ったことは一度もありません。毎日の習慣ですから。

高齢化で減るお茶会の場

大賀郷では3時にやってるところもあったけど、その人が亡くなって、ここへ来ている人もいます。三根でも集まってきた家があったけど、高齢になったり亡くなったりして、いまはやってるところがなくなったんじゃないかな。「えこ・あぐりまーと」もサロンになっていたけど、常連の人が亡くなったり入院したりして。楽しい人たちが亡くなってしまったのは寂しいことです。

遠慮なく話せるから楽しい

ここが楽しいのはみんな遠慮なしにしゃべるから。知らない人にはこちら自制して話すけど、ここでは腹を出して話すから面白い。いまはテレビや世間がパワハラやらセクハラやらうるさいけど、腹を出さないと面白くないんだよ。遠慮なく話せる人たちと集まるから楽しいんです。

話が合う人と集まる

こないだの町祭りには若い人たちがたくさん来ていた。世代が違っても話しても通じないから、自分たちで自然発生的に集まればよいのではと思います。話が合う人とどんどん集まって楽しんだらいいですよ。

参加者 菊池 寛さん(74歳)



情報交換のための朝参り

このハウスで始めたのは十数年前ですが、その前は実家でやってました。元々うちの実家はわたしが物心ついた頃、爺さんの代から囲炉裏を囲んで人が集まり、そういう家が中之郷には何軒もありました。テレビやラジオのない昔は情報が伝わらないから、そうやって毎日集まって情報交換していたんです。「南海タイムス」(地元紙)はあったけど、週に1回しか出ないから、毎日集まって聞く情報の方が伝達が早いですからね。

朝参りのはしご

昔は朝参りのはしごをする人もいて、こっちで聞いた情報をおうちに伝え、またおうちにも伝えて、中之郷中に知らせていました。少し前までは他にもやってる人がいましたが、だんだん減ってしまって、いま残ってるのは中之郷ではここだけです。

明治大正時代からやっていた

朝参りは大昔からやっていたと思います。嫁さんや婿さんの

みんなわせ！よさリやれ

～集いのすすめ～

SNSの時代ではありますが、小さな島で集まりやすい環境ですから、八丈島の先輩たちに習い、気の合う人たちとどんどん集まり、話し、情報交換し、遊び、楽しみませんか。移住協では、趣味の合う人たちの集まりを応援するため、部活動を発足しました。現在、釣り部と手仕事部が活動しています。カラオケ部も近日活動開始します。

※円滑な活動をするため、入部受付は移住者交流会で対面で行います。または部員の紹介で入部できます。

移住協 現在13名

釣り部



部長

齋藤 健太さん(40歳)

9月の移住者交流スペースで発足しました。移住者の中には釣りをしてみたいけど、どうしたらいいかわからない初心者がたくさんいます。LINEグループで情報交換し、誘い合って釣り、釣果報告しています。釣りベテランの顧問に教えていただいています。上京する人がいるとダイソーで部員の希望の釣具をまとめて買ってきます。ゆるく活動する仲が良い部活です。



11月9日(水)釣り部発足会を行いました。顧問が青ヶ島で釣ってきたカンパチ・ヒラマサの刺身、寿司、煮付け他、部員が張り切って持ち寄った豪華な宴会でした。



移住協 現在7名 手仕事部



編み物・刺繍・刺し子・縫い物など、手仕事が好きな人たちが集まり、10月に発足。11月26日(日)に発足会を兼ねた第1回部活を行いました。毎月1回集まり、要望の多いテーマでちくちく、編み編み、手仕事をしながらおしゃべりをしてお茶を飲む平和な部活です。初回のテーマは「かぎ針でヘアバンドを作る」。ちょっと変わったかぎ針の編み方をみんなで練習しました。

※基本的に道具と材料は自分で用意します。たくさん持っている人から借りたり譲ってもらったりもありますので、お気軽にご相談ください。



手仕事はみんなでおしゃべりしながらやるのが楽しい♪
初心者も玄人も歓迎です～!

部長

刺繍作家
東海林 ミモザさん(35歳)



Sunnydays&RainydaysCafe

がんを経験した島内在住の女性のための会

※こちらは移住協の部活ではありません。

月1回、「むかしのとみじろう」さんでお茶飲み会を開いています。デリケートなことも安心して話せる場所にするために女性限定、がんの種類は不問、治療後の方も大歓迎。参加申込不要、参加費¥100(お茶葉代)です。

乳がんのため、2012年5月から抗がん剤10クールを含むがん治療を経験しました。今や2人に1人が罹患するといわれながら、何となく言い出しにくいのが「がん」。治療当時は私もそうでした。その経験から、今を生きる私たちが、日々のことを気軽に話せて、共感し合える場所を作ろうと思いました。

がんになると大変なことも多いけれど、決して悪いことばかりじゃない。雨上がりに虹が出るみたいに、そのうちきつとなにかいいことがあるでしょう。もし、誰かと話したいな、聞きたいな、と思ってる方がいたら、ぜひいらしてくださいね。Xで情報発信しています。

代表 奥山まどか





宇喜多秀家が生まれた島

八丈島の歴史

岡山戦国武将隊の宇喜多秀家

戦国の動乱の中、豊臣政権を破格の厚遇で駆け上がった岡山の若きお殿様。なにがあっても諦めずに生き続ける強さと気高さは多くの人を魅了します。400年以上前に関が原で戦い破れ、35歳で八丈島へ流された豊臣五大老のひとりがこの島で50年生きた歴史は、解き明かしてみたい興味深いドラマです。

9月26日、岡山県岡山市は記者会見で、「戦国 宇喜多家を顕彰する会 ～大河ドラマ誘致を目指して～」を設立することを発表し、11月12日、設立総会と設立記念トークイベントを開催しました。会のメンバーには岡山市をはじめとする幹事団体、地元組織が名を連ね、歴史学者をアドバイザーとする他、関係市町として、東京都八丈町、石川県金沢市、岡山県瀬戸内市、鹿児島県垂水市が上げられています。

八丈島では、2016年1月に宇喜多秀家を顕彰する会「八丈島久福会」が有志により発足しています。今年も11月19日(20日が命日)に鎮魂祭を執り行い、岡山市と瀬戸市から参列されたご来賓の方々との懇親会を開きました。



「八丈島久福会」代表
土屋 久さん(75歳)

久福会について

最初は有志が集まり6、7人で始めました。徐々に仲間を増やして現在は21名です。学者ではないので研究はできませんが、お墓の状態をみたり、居宅跡の持ち主も久福会のメンバーですから、岡山から贈られた松を植えたり、状態を見て管理をしています。また、毎年10月には岡山市の「おかやま桃太郎まつり」に参加して、八丈島の唄や踊りを披露し、物産展に出店するなど八丈島のPRをさせていただいています。

大河ドラマ誘致について

今後の活動については、岡山の方針に沿う形で協力していきます。島の人たちには宇喜多秀家という歴史的に重要な人物が八丈島で50年を暮らしていたことをもっと知っていただきたい。お墓の場所や居宅跡は知ってもらいたいですね。そこがまず大切です。



前岡山市議会議長
和氣 健さん

懇親会でのご挨拶

昨年に引き続き、今年も八丈島の皆様と交流できる機会があり嬉しく思っています。先日の宇喜多家を顕彰する会設立総会にも八丈島から岡山へ来ていただき、ご縁がだんだん深まっています。昨年、岡山城がリニューアルして立派な観光施設になりました。そのセレモニーにも八丈町長と久福会に来ていただいたことで、岡山城の歴史に大きな厚みを加えることができたと思っています。

そのようなお陰で、いまは大河ドラマ誘致で盛り上がっていますが、八丈島と岡山が交流を深めていくことが必要だと思っています。岡山のお殿様を50年間も八丈島の皆様に守っていただいて、本当に大事にいただいていることがありがたい。岡山市長からも感謝の気持ちをしっかり伝えてほしいと言われて来ました。これからも八丈島と岡山の交流が深く続いていくことを願っています。

宇喜多秀家 年表

1572年 (元龜3年)	1歳	備前国の豪族・宇喜多直家の嫡男として生まれる。幼名は八郎。この年または翌年、直家は居城を備前国岡山城から備前国岡山城へ移す。(時期は諸説あり)
1581年 (天正9年)	10歳	父の宇喜多直家が病没。
1582年 (天正10年)	11歳	1月21日、織田信長の許しを得て家督を相続。豊臣秀吉による備中高松城攻めに協力。6月2日、本能寺の変で織田信長が死去。
1585年 (天正13年)	14歳	2月、宇喜多氏と毛利氏の領地が豊臣秀吉により確定され(中国国分)、秀家は正式に備前国の半分・美作国・備前国・播磨二郡を領する57万石の大名となる。3月、秀吉による紀州征討に従軍。夏、秀吉の四国征討に派兵。
1587年 (天正15年)	16歳	1月から5月、秀吉による九州征討に従軍。
1588年 (天正16年)	17歳	豊臣秀吉の猶子となり養子同様の厚遇を受ける。前田利家の娘で秀吉の養女・豪姫を正室とする。秀吉より豊臣姓と羽柴氏を賜る。秀吉より秀の字を賜り秀家を称するがこの時期は不明。
1590年 (天正18年)	19歳	2月から7月、秀吉の小田原征討に従軍する。岡山城の大改築。本丸を石山から岡山へ移す。
1591年 (天正19年)	20歳	嫡男・孫九郎が生まれる。(のちの秀高)
1592年 (文禄元年)	21歳	文禄の役で朝鮮へ出陣。翌年、総大将となる。
1594年 (文禄3年)	23歳	権中納言に叙せられる。
1597年 (慶長2年)	26歳	慶長の役で毛利秀元と再び朝鮮へ出陣。岡山城の改修完成。次男・小平次が生まれる。(のちの秀継)
1598年 (慶長3年)	27歳	朝鮮から帰国。多岐にわたる功績により、豊臣秀吉から五大老のひとりに任命される。8月、豊臣秀吉が病没。
1599年 (慶長4年)	28歳	義父・前田利家が病没。宇喜多騒動が勃発。重臣たちが離反し、豊臣家中で武断派と文治派の派閥抗争が表面化。
1600年 (慶長5年)	29歳	関ヶ原の戦い。7月17日、石田三成が毛利輝元を総大将として徳川家康打倒のため挙兵。秀家は西軍の副大将として主力となる。7月22日、前哨戦となる伏見城の戦いに加勢し落城させる。9月15日、関ヶ原の戦いでは1万7千の兵を率いて戦うが、小早川秀秋が東軍に寝返り、西軍が敗北。秀家は潜伏しながら美濃国から上方に移る。宇喜多家は徳川家康により改易処分(土籍剥奪・家禄没収)とされる。
1601年 (慶長6年)	30歳	薩摩国・島津氏に身を寄せる。出家して「休復」と号する。
1603年 (慶長8年)	32歳	伏見に着き、家康に身柄を渡される。島津忠恒・前田利長らの助命願いにより死罪を免れ、駿河国・久能山へ配流。駿府城に幽閉。
1606年 (慶長11年)	35歳	4月、徳川幕府より八丈島への遠島を言い渡され、秀家、息子の孫九郎・小平次と家臣、13名で八丈島へ配流。名を「久福」と改める。妻豪姫の実家である加賀前田氏や旧臣らの援助を受けて50年を八丈島で過ごす。
1616年 (元和2年)	45歳	刑が解かれ、前田利常より大名復帰と10万石の付与を提案されるが断り八丈島に留まる。(諸説あり)
1655年 (明暦元年)	84歳	11月20日没。享年84歳。



宇喜多秀家鎮魂祭の法要



宇喜多秀家居宅跡にて



宇喜多秀家と豪姫の銅像前にて